



清流荒川に サクラマスの稚魚を放流

四月十五日、一級河川荒川の荒川水辺プラザでサクラマス稚魚放流式が行われました。この放流式は、稚魚の放流を通して子どもたちが生物の育成に関わり河川に親しんでもらおうと、荒川漁業協同組合、第二十八回全国豊かな海

づくり大会新潟実行委員会、村が主催したものです。放流式には、村内三つの保育園の年長児四十三人が参加。サクラマスの生態や放流の仕方について説明を受けた後、荒川漁業協同組合で昨年の秋から育てられた十センチほどの稚

「第28回全国豊かな海づくり新潟大会」

魚や貝などの水産資源保護や海の自然環境を守ることの大切さを考える大会で、例年、天皇皇后両陛下がご臨席されています。第28回新潟大会は、新潟市の朱鷺メッセとその周辺で、9月6日(土)・7日(日)に開催されます。

魚、約一万匹を放流。子どもたちは、「大きくなってね」「元気でね」などと呼びかけながら、清流荒川へ放流していました。そのほか、九月六日・七日に朱鷺メッセで開催される「第二十八回全国豊かな海づくり新潟大会」のマスコット

キャラクター「まもりん」も放流式の応援に訪れ、子どもたちと一緒にサクラマスの旅立ちを見送りました。サクラマスが故郷の川へ戻って来るのは、三、四年後といわれています。元気に育つて、清流荒川へ帰ってきてくれることでしょう。



村内の桜が、例年より少し早い四月十六日ころから見ごろをむかえました。高瀬温泉の桜は、一番古いもので樹齢十九年。約四百メートル続く桜並木で、すっかり桜の名所となりました。休日には家族連れやカメラマンなどの

関川村の 春を満喫

花見客が大勢訪れ、満開の桜を満喫していました。

二十一日には、自然環境管理公社主催の観桜会が行われ、村内から約六十人が出席。幻想的なぼんぼりが灯るなか、夜桜を楽しんでいました。



鷹の巣キャンプ場内のカタクリの群生地。四月初旬から中旬ころまで、紫色の花が一面に開花します。



大石林道脇にあるミスバシヨウ群生地では、雪解けとともに白い花が一斉に開花。見ごろは四月初旬から下旬。